

プリント工房
ワンスハート
代表
おか
岡 浩次 (55)

：今は厳しさ辛さに感謝

兵庫で生まれ、間もなく父の仕事の関係で福山に引っ越してきました。幼少のころはおとなく引っこ込み思案な性格だったと思います。とはいえ、外で元気に遊んでいましたね。近くの木が一本も生えていない小さな山、通称「ツルテン山」が遊び場でした。小学校に上がると行動範囲が広がり郷分の水晶谷の方まで遊びに行っていました。町内のソフトボールもやりましたが、友達と遊ぶ方が楽しかったです。皆さんもやっと思えますが近くの空き地に廃材を使って秘密基地を作ったりもしましたね。興味本位でたき火をやって怒られたのも今ではよい思い出です。勉強は一応やっていましたよ、成績は中の中でしたかね。中学は仲の良い友達と剣道部に入部しました。何で剣道だったかはよく覚えていません。上下関係が厳しく、特に1年の時は先輩によくしごかれました。練習もきつかったですね。素足で学校の外周を走るので夏は焼けたアスファルトで足を火傷したりしていました。素振りに腹筋、腕立て伏せ、夏は特にですが防具で暑いし臭い毎日クタクタでした。でも、今振り返れば3年間、頑張ったお陰で礼に始まり礼に終わる、剣道ならでのよい躰が知らず知らず身に付いていたと思います。放課後や休みの日は友達の家で他愛のないことで盛り上がりたり音楽を聴いたりしていましたね。勉強ですか？普通でしたよ。塾にも通っていましたが授業中もおしゃべりばかりしていましたね。そうそう、中学、初めての英語のテストで100点を取りました。最初で最後の満点でしたけどね(笑)。高校は地元の公立高校に合格、入学しました。クラブはラケット部です。剣道の時の先輩がいたのがきっかけでしたね。練習は途轍もなく厳しかったですね。冬の大会に向けて夏は猛練習です。そして、鬼の合宿があります。走り込みにタックル、土入りの重たいボールでパス回し、ぶっ倒れるまでやらされましたね。練習中に水が飲めないのは当たり前でした。極限に達すると泥水を隠れて飲んでいましたね。生き抜く手段ですね。試合に負けると100mを全力で10往復です。自分を追い込みやり抜く力を叩き込ま

「あなたの街のプリント屋」1枚からオーダーメイドでお手伝いをさせていただきます！

れました。心身共に鍛えていた高校時代でした。そんな中でしたが時間を作って遊びもことごとやりましたね。原付バイクを改造したり、友達の家で麻雀をやったり、キャロルや矢沢永吉、フオークも聴いていましたね。学校をさぼって喫茶店に行ったりもしていました。出欠は友達が代理で返事してくれれます。チームワークは抜群でしたね。ラケット部のおかげです(大笑)。

：喜ぶ笑顔に会いたくて

卒業後は山形の大学に進学。1年の途中までは寮生活、門限破りは日常茶飯事でした。やんちゃが過ぎてとうとう寮を追い出されました。仕方なく友達3人でマンションを借りました。バイトもハードにこなしました。2年の時に車を購入、ドライブにデイスコ、パブ、クラブ：今思えば、遊ぶためにアルバイトをしていましたね。大学生活を大いに楽しみ、エンジョイしました。卒業ですか？何と何か単位を取得、出席日数はギリギリでしたが留年もなく無事卒業。福山の出版会社に就職しました。ここで4年、営業のいろはを厳しく学びました。「いまに見とけよ」ラケット部のお陰で厳しいと燃えましましたね。26歳の時に衣類のパーツを扱う会社に転職、約4年で見積もりや発注業務の勉強ができました。次に先輩の紹介で衣類へプリントを施す会社へ入社。6年間、特殊プリントの技術を学びました。このサービスを中小企業様やお店、個人様に提供したい！と、独立を決意。1999年、衣類や繊維に絵や写真、文字をいろんな技法で1枚からプリントができる工房「ワンスハート」を自宅にオープンいたしました。お取引先やお客様に支えられ今日に至ります(感謝)。2011年には店舗を併設した工房にしたいと想い南蔵王に移転リニューアルオープン。Foolish (フーリッシュ) & City084 (ふくやまシティ084) のオリジナルのブランドも立ち上げ、来年で17周年を迎えます。これからも初心を忘れず、あなたの街のプリント屋として様々なシーンに対応、かゆいところに手の届くオーダーメイドなお手伝いをさせていただきます。

